

# CAPITA

## 株式会社CAPITA 2026年3月期第3四半期

### 概要と分析

(2026年第3四半期より連結決算となります。)



東証スタンダード：7462



# 主要財務指標の 推移と分析

# 2026年3月期 第3四半期連結決算実績

株式会社CAPITAは、資本コストを強く意識した成長戦略に基づき事業ポートフォリオの再構築を行ったことにより、2026年3月期第3四半期より連結決算となります。

低採算であった自転車専門店事業の売却、不動産事業部における資産ポートフォリオの組み換えのほか、バイオ・サイト・キャピタル株式会社をグループ化いたしました。

第3四半期連結の業績は以下の通りとなりました。

- ・売上：15億59百万円（連結決算）
- ・営業利益：1百万円（連結決算）
- ・経常利益：△12百万円（連結決算）

連結決算は一時的なM&A関連費用、不動産事業の資産組替えのための借入の利払い費用の計上により営業利益1百万円、経常利益△12百万円、特別利益139百万円により純利益83百万円となりました。

	単体決算(参考)	連結決算		
	2025年03月期Q3	2026年03月期Q3	増減額	増減率
売上高	2,697,668	1,559,859	-1,137,809	-42.18%
売上原価	1,974,244	1,081,727	-892,517	-45.21%
販売費及び 一般管理費	647,278	476,513	-170,765	-26.38%
営業利益	76,146	1,619	-74,527	-97.87%
営業外収益	2,413	2,601	188	7.79%
営業外費用	9,497	16,946	7,449	78.44%
経常損益	69,062	△ 12,725	-81,787	-118.43%
特別利益	—	139,021	139,021	—
特別損失	16,118	3,967	-12,151	-75.39%
税引前利益	52,943	122,328	69,385	131.06%
第3四半期純利益	35,962	83,988	48,026	133.55%

単位：千円

# 売上高の動向

## 売上高の変動分析

(2026年第3四半期より連結決算となり、前期決算比は参考値となります。)

2026年3月期第3四半期は前期に比べ大幅な減収となりました。

減収の原因として下記の3点が挙げられます。

### 石油事業部の減収（売上高1336百万円・前年同期比14.2%減）

販売数量と適正マージンの維持による利益重視の体制へシフトするため、店舗網の最適化(2店舗閉鎖)を行いました。

### 不動産事業部の減収（売上高135百万円・前年同期比78.9%減）

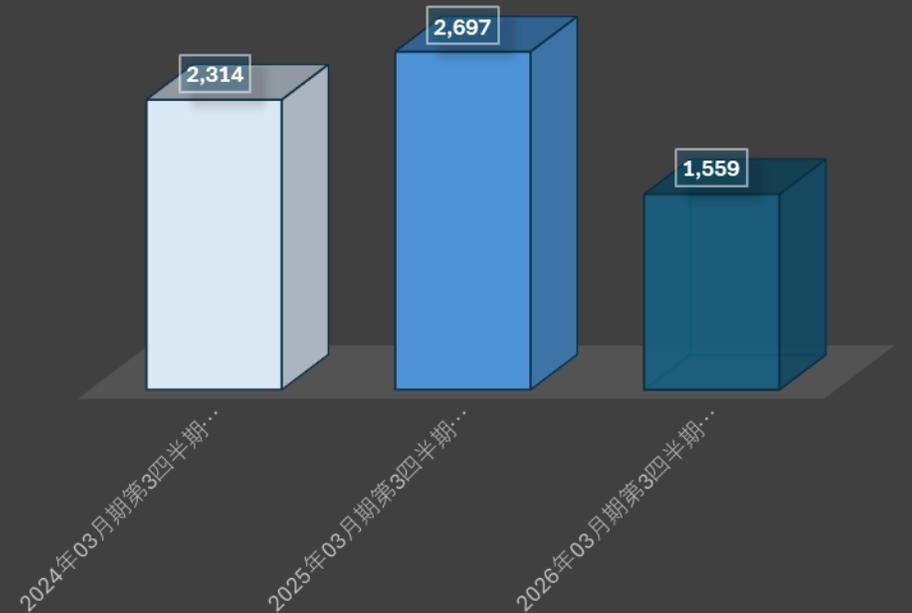
不動産事業部におきましては、前期にあった販売用不動産の売却が今期は発生しなかったことが減収の主な要因です。現在は、収益性の高い資産の取得と既存資産の収益化に注力しております。

### 専門店事業部の減収（売上高88百万円・前年同期比82.4%減）

専門店事業部におきましては、資本コストを意識した経営戦略を遂行したことにより2025年7月1日に事業譲渡を行いました。

## 第3四半期決算3年間比較

■ 2024年03月期第3四半期 単独決算 ■ 2025年03月期第3四半期 単独決算 ■ 2026年03月期第3四半期 連結決算



# 営業利益の動向

## 利益の変動分析

(2026年3月期第3四半期より連結決算となり、前期決算比は参考値となります。)

2026年03月期第3四半期は資本コストを意識した経営へ向けた過程における一時的なM&A費用の計上などにより大幅な減益となりました。

### 石油事業部の損益（営業利益81百万円・前年同期20.7%増）

店舗網の収益力を精査し、効率化を目指した店舗の再編成を実施いたしました。これに加え、コーティングサービスの強化やレンタカー事業の拡充といった「油外収益」の改善に注力した結果、収益構造の安定化が進み、増益となりました。

### 不動産事業部の損益（営業利益102百万円・前年同期比9.5%減）

不動産事業部におきましては、第3四半期においては販売用不動産の売却益はありませんが、引き続き賃貸収入は高い稼働率に支えられています。

### 専門店事業部の損益（営業損失15百万円）

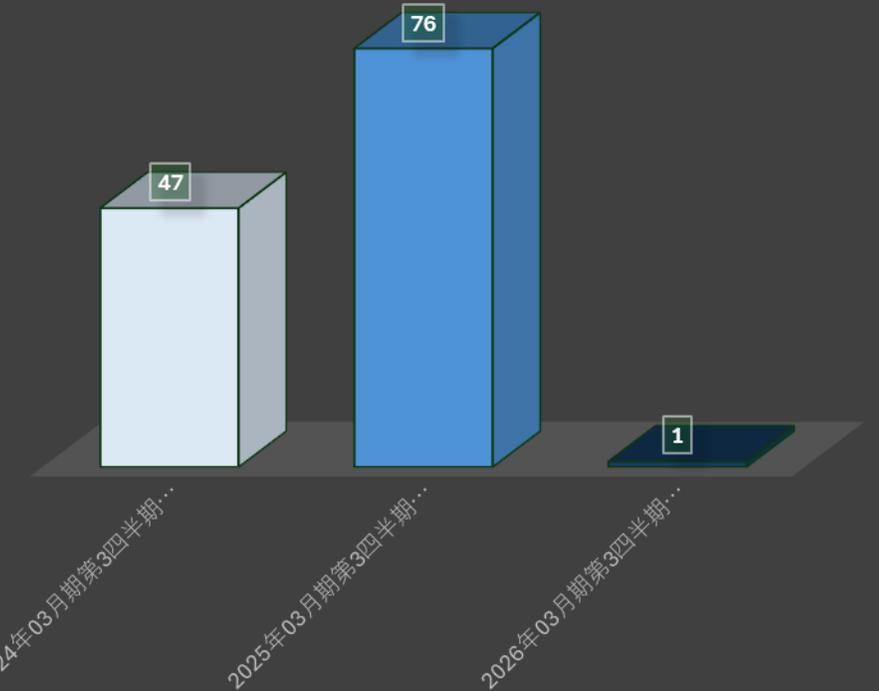
専門店事業は2025年7月1日に営業譲渡いたしました。

### その他

バイオ・サイト・キャピタル株式会社のグループ化に伴うM&A関連費用として55百万円を計上いたしました。

## 第3四半期決算3年間比較

■ 2024年03月期第3四半期 単独決算 ■ 2025年03月期第3四半期 単独決算 ■ 2026年03月期第3四半期 連結決算



# 資本コストを意識した経営 への変革

# 資本コストを意識した経営への変革

## 不採算事業の見直し

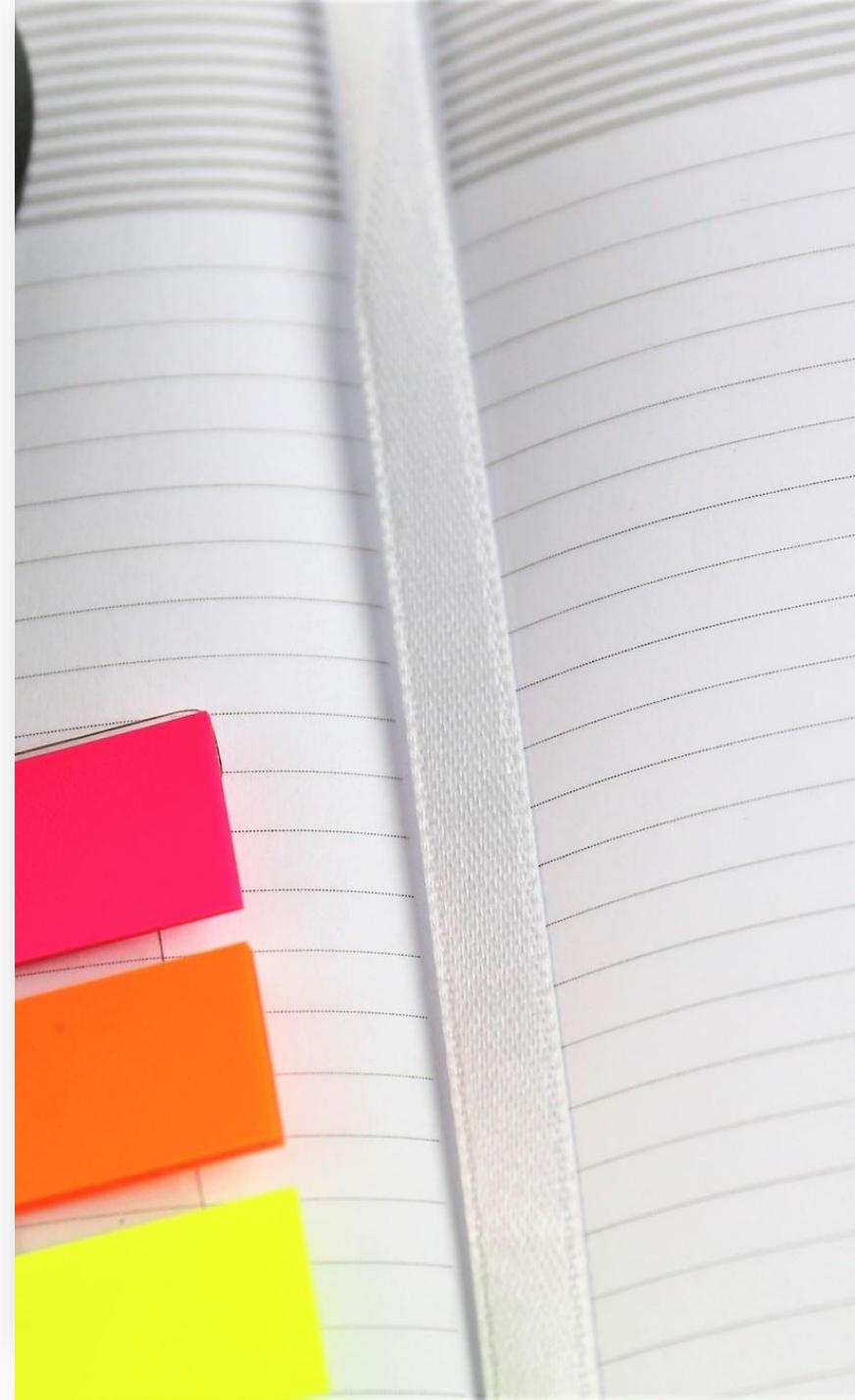
ROA10%以上を目標に構造改革や事業の見直しを行います。

## 新たなビジネスへのチャレンジ

経営統合を含むM&A戦略を積極的に行います。

## 株主還元強化

株主重視への配当性向の見直し、株主優待策、IRの強化



# 資本コストを意識した経営への行動

日付	内容	カテゴリー
5/14	2025年03月期配当を6円へ増配	
5/23	専門店事業部の事業譲渡（自転車事業からの撤退）	専門店事業
6/6	株主優待制度の導入（CAPITAプレミアム優待倶楽部）	
6/23	固定資産の譲渡（茨城県神栖市）により特別利益を計上予定	
6/26	IR準備室の設立	
6/27	入間大井SS閉店	石油事業
7/1	宮田浩二氏（現池田泉州銀行顧問）顧問就任	
7/15	固定資産の譲渡（東京都文京区・埼玉県川口市）により特別利益を計上予定	不動産
7/25	固定資産の取得（神奈川県横浜市）	不動産
7/31	M&A戦略室設置	投資事業
8/13	配当予想の修正（中間配当の実施）	
8/26	代表取締役異動のお知らせ（代表取締役就任予定者 現宮田浩二顧問） 臨時株主総会後の取締役会にて承認されることが条件となります。	
8/28	固定資産の取得（東京都板橋区）	不動産
8/29	湯島SS閉店	石油事業
9/9	固定資産の取得（東京都板橋区）	不動産
9/10	2026年3月期業績予想の修正と配当予想の修正（増配）	
9/19	資金の借り入れ	
9/26	固定資産の取得（神奈川県横浜市）	不動産
9/30	バイオ・サイト・キャピタル株式会社の子会社化	投資事業

# 資本コストを意識した経営への行動

日付	内容	カテゴリー
11/13	CAPITA大阪本部設置準備室の設置	
11/13	配当予想の修正（増配）	
11/13	2026年3月期業績予想の修正（当期純利益増益）	
12/19	固定資産の取得（大阪府八尾市）	不動産
12/19	連結子会社による固定資産の取得（大阪府大阪市）	不動産
12/24	当座貸越契約の設定（10億円）	
12/25	上場維持基準への適合	
12/25	記念株主優待の実施に関するお知らせ	
1/22	大阪本部設置	
1/22	M&A戦略室設置	投資事業
1/22	IR戦略室設置	
1/22	代表取締役異動 代表取締役CEO 宮田浩二	



## 免責事項

本資料は、当社の事業、財務、業績に関する情報を提供することを目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。投資判断は必ずご自身の責任において行ってください。

本資料に記載されている将来の見通し（事業計画、戦略、業績予想など）は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した一定の前提および仮定のもとに作成されたものです。

しかし、これらの前提および仮定には不確実性や潜在的なリスクが含まれており、実際の事業活動の結果は、様々な要因により、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料の見通しを更新する義務を負うものではありません。

本資料の作成にあたっては、細心の注意を払っておりますが、その正確性および完全性を保証するものではありません。本資料のご利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

お問い合わせ先：株式会社CAPITA IR準備室 電話：03-6277-5015 / メール：info@capita-inc.jp